



## 国税のクレジットカードによる納付が可能に

平成 28 年度税制改正において、国税の納付手段の多様化を図る観点から、クレジットカード納付を可能とする制度が創設されることとされました。  
(平成 29 年 1 月 4 日施行予定)

実際の納付については、国税庁のホームページなどにクレジットカード決済のシステムが構築され、ここを通じて、クレジットカードによる納付が可能となるようです。

なお、利用できる税目については、基本的に制限なしとのことですが、クレジットカード会社の取扱上、1,000 万円未満に限定されます。

### メリット

納付の為の金融機関等に出向く手間が省ける

クレジットカードの利用によるポイント・マイルなどの獲得が可能  
(今後、納税はポイントの対象外となる可能性もあります)

口座から出金されるタイミングが、クレジットカードの支払日になる為、納付期日において現金がなくても、納付することができる

### デメリット

クレジットカードの利用手数料は、納税者の負担となる

納税証明書の発行は、クレジットカード会社から日本銀行への納付が完了してからでないと発行されない想定されるため、納付書を利用した場合に比べ、発行までの日数を要する恐れがある

なお、自動車税・固定資産税などの一部の地方税については、既にクレジットカードによる納付が選択できるようになっておりますので、ご興味がある方は、一度利用されてみてはいかがでしょうか。

クレジットカードの利用可否については、当該地方自治体にご確認ください

